

## ～ 建学の精神 ～

人々の生活と健康を高め

地域社会に貢献する

ケア・スピリットを備えた保健医療人



### アドミッション・ポリシー

- 1) 専門性の高い看護学の修得を志向する人
- 2) 看護学専攻の教育を受けるための基礎的な知識や技術を有する人
- 3) 看護学の教育・研究者として、看護学や看護実践の発展に貢献する意欲を有する人
- 4) 看護学や看護実践に対する高い探究心を持ち、主体的に学修する意欲を有する人

## 教育課程

看護学専攻に教育・研究を行う領域として次の3領域を設け、学生と指導教官員の綿密な相談に基づいた履修計画・指導計画の基に教育・研究を展開する。

### ①基礎・地域連携看護学領域

様々なライフサイクルや健康段階にある人々への看護実践の基盤となる看護援助を探究する。看護実践の理論的背景、根拠に基づく看護援助技術の実証的研究を行う。地域で生活する人々とその家族、療養中の看護の対象者など、様々な状況の看護について探究する。さらに、看護の場を限定せず、地域包括ケアシステムにおける看護課題を研究する。

### ②臨床・応用看護学領域

看護援助における科学的根拠に基づいた臨床研究を行う。小児、老年等の各々の臨床領域における効果的な看護援助の要因分析と援助方法の開発・評価等に関する研究を行う。また、入院や治療中の看護対象者など、さまざまな状況にある人々の看護について研究し、対象者及びその家族の看護の在り方等に関する調査・研究を進める。さらに、看護の場を限定せず広く看護学的観点から健康問題を明らかにし、保健・医療・福祉との連携を図りながら、地域のコミュニティにおける看護課題を研究する。

### ③看護管理学領域

看護管理に関する科学的根拠に基づいた看護研究を行う。看護管理者に必要とされる組織運営・組織調整・組織構築・経営・看護の行政・政策に関する研究や看護学的観点から看護組織の構築と運営に係る課題を明らかにし、看護組織が果たす役割について研究する。また、看護対象者及びその家族等の健康問題を明らかにし、保健・医療・福祉との連携を図りながら調整・管理する上で必要な要件等に関する研究を行う。

## 履修科目

共通科目	専門科目	研究科目
多職種連携特論	基礎看護学特論Ⅰ・Ⅱ	看護学特別研究
看護理論特論	基礎看護学演習Ⅰ・Ⅱ	
コンサルテーション特論	在宅看護学特論Ⅰ・Ⅱ	
看護研究方法特論	在宅看護学演習Ⅰ・Ⅱ	
臨床倫理特論	老年看護学特論Ⅰ・Ⅱ	
統計学特論	老年看護学演習Ⅰ・Ⅱ	
質的研究方法特論	母性看護学特論Ⅰ・Ⅱ	
医療社会学特論	母性看護学演習Ⅰ・Ⅱ	
看護学教育特論	小児看護学特論Ⅰ・Ⅱ	
フィジカルアセスメント特論	小児看護学演習Ⅰ・Ⅱ	
	精神看護学特論Ⅰ・Ⅱ	
	精神看護学演習Ⅰ・Ⅱ	
	看護管理学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
	看護管理学演習	



## 大学院設置計画

- 名称 岩手保健医療大学大学院看護学研究科
- 開設時期 令和3(2021)年4月
- 修業年限 2年
- 専攻員 看護学専攻
- 定員 入学定員3名/収容定員6名
- 授与する学位 修士(看護学)
- 修了要件 2年以上在学し、30単位以上を修得し、修士論文審査に合格すること。
- 学費 入学検定料: 3万円  
入学金: 25万円  
授業料: 55万円(実習費、施設設備費を含む。)
- 応募条件 1) 大学を卒業した者  
2) 短期大学や専修学校等の卒業生で、看護師等として3年以上の実務経験がある者

### 有職者に対する特別な配慮

- 本学研究科では、有職のため、昼間だけでは学修が困難と予測される学生のために、平日のVI時限(18:00~19:30)と土曜日Ⅰ~Ⅳ時限(08:50~16:10)に授業を行う昼夜開講制度を導入する。
- 修業年限は2年のところ、有職者等には3年間で修了する長期履修生制度を採用する。納付金については、2年間分を3年間で納める制度とする。
- 遠隔地においても学修可能なようにインターネットオンライン通信を駆使し、自宅等で受講できるよう便宜を図る。